

平成27年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年1月9日

上場会社名 株式会社カンセキ 上場取引所 東
 コード番号 9903 URL http://www.kanseki.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 長谷川 静夫
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 管理本部長 (氏名) 高橋 利明 (TEL) 028-659-3112
 四半期報告書提出予定日 平成27年1月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年2月期第3四半期の連結業績 (平成26年3月1日～平成26年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年2月期第3四半期	23,387	2.8	857	19.6	638	35.1	390	36.8
26年2月期第3四半期	22,749	0.3	716	△21.8	472	△24.1	285	△19.8

(注) 包括利益 27年2月期第3四半期 461百万円(40.4%) 26年2月期第3四半期 328百万円(△6.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年2月期第3四半期	26.36	—
26年2月期第3四半期	19.28	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年2月期第3四半期	27,288	5,603	20.5
26年2月期	25,830	5,193	20.1

(参考) 自己資本 27年2月期第3四半期 5,603百万円 26年2月期 5,193百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年2月期	—	1.50	—	2.00	3.50
27年2月期	—	1.50	—	—	—
27年2月期(予想)	—	—	—	3.00	4.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 平成27年2月期の連結業績予想 (平成26年3月1日～平成27年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	30,515	1.2	871	12.5	565	23.0	279	5.3	18.85

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

27年2月期3Q	16,100,000株	26年2月期	16,100,000株
27年2月期3Q	1,297,263株	26年2月期	1,297,263株
27年2月期3Q	14,802,737株	26年2月期3Q	14,803,414株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(平成26年3月1日から平成26年11月30日)におけるわが国経済は、円安による輸出関連企業が好調に推移する一方で、輸入コスト上昇による原材料の高騰が、輸入企業や内需関連企業に悪影響を及ぼしております。同様に、個人消費面では、物価上昇による家計コスト増、消費税増税の影響、実質所得低下等により、消費意欲を低下させ、先行きの不透明感を払拭できない状況で推移いたしました。

このような経済状況の中、当社グループは、営業面において、期初に消費税増税に伴う駆け込み需要を効果的に取り込み、売上を伸長させることが出来ました。しかし増税後は、天候不順の影響もあり、季節商品が伸び悩むとともに消費者の節約意識が堅調になり苦戦を強いられました。経費面では、円安による仕入コストや光熱費の上昇などの増加要因が生じましたが、引き続き経費削減に向けた様々な取り組みを実施し利益の確保に努めました。

この結果、売上高は233億87百万円(前年同四半期比2.8%増)、営業利益は8億57百万円(前年同四半期比19.6%増)、経常利益は6億38百万円(前年同四半期比35.1%増)、四半期純利益は3億90百万円(前年同四半期比36.8%増)となり、前年同四半期と比較して、売上高、利益ともに上回り、増収増益となりました。

なお、報告セグメント別の業績は次のとおりであります。

[ホームセンター事業]

ホームセンター事業につきましては、依然として増税による影響が残る中、主として日用品、雑貨品などの生活用品を中心に、お客様の節約志向は変わらず、売上が伸び悩みました。一方で、天候不順により季節商品の販売が振るわない中、9月における好天の影響により、屋外の作業が主な塗料・木材が好調に推移いたしました。10月以降は、冷え込みの遅れにより灯油・暖房器具の出足が遅れましたが、園芸商材が堅調に推移したことや、店舗個別での販売企画が好評を博し、売上を確保いたしました。

これらの結果、営業収益は139億57百万円(前年同四半期比0.1%減)、セグメント利益は4億76百万円(前年同四半期比3.6%増)となり、前年同四半期と比較して、増益となりました。

[WILD-1事業]

WILD-1事業につきましては、当事業年度に創業30周年を迎え、店頭及びオンラインストアにおいて、イベント・セール開催及び記念商品の販売を実施しております。当第3四半期におけるWILD-1事業は、新規のお客様がファミリー層を中心に増加する中、9月は、好天にも恵まれ、キャンプ関連商品を中心に好調に推移いたしました。10月は、週末に台風の影響を受けましたが、ウェア類を中心とした販売促進により売上を伸長させることができました。11月は、会員限定DMによる販売促進を実施し高額商品の購入を促しました。

これらの結果、営業収益は55億83百万円(前年同四半期比7.8%増)、セグメント利益は5億4百万円(前年同四半期比22.3%増)となり、営業収益、セグメント利益は、前年同四半期を上回る結果で推移いたしました。

[専門店事業]

専門店事業につきましては、オフハウス店舗において、10月下旬から11月初旬までの期間「オータムバザール」を3店舗で実施したことにより、冬物衣料・ブランドバッグ・ジュエリー・家電・家具が好調に推移し売上を伸ばしました。また、店舗個別にお勧め商品を企画し、販売促進を図ったことにより、客数並びに利益率の改善がなされました。業務スーパー店舗においては、依然として仕入価格や物流コストの上昇など、厳しい経営環境が続く中、各地のお祭り、学園祭などのイベント需要が好調に推移し、安定した売上を確保いたしました。また、増税後、お客様の節約志向と、業務スーパーの特色である「安くて安心な商品」がお客様の支持を受け、営業収益、利益ともに好調に伸びております。

これらの結果、専門店事業における営業収益は41億26百万円(前年同四半期比6.3%増)、セグメント利益は2億4百万円(前年同四半期比22.0%増)となり、前年同四半期を超える営業成績であります。

〔店舗開発事業〕

店舗開発事業につきましては、前期と比較して賃貸物件の期間満了により物件数が減少しておりますが、営業収益、セグメント利益は計画通りに進捗しております。

店舗開発事業における営業収益は5億38百万円（前年同四半期比6.8%減）、セグメント利益は1億2百万円（前年同四半期比6.7%減）となっております。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、272億88百万円となり、前連結会計年度末に比べ14億57百万円の増加となりました。主な要因としては、有形固定資産の減少1億44百万円及び敷金及び保証金の返還による減少1億30百万円の減少要因に対し、現金及び預金の増加10億67百万円、クレジット売上増に伴う売掛金の増加1億26百万円及び商品の増加4億64百万円の増加要因によるものであります。

負債は、216億84百万円となり、前連結会計年度末に比べ10億47百万円の増加となりました。主な要因としては、短期借入金の減少71百万円、長期借入金の減少5億17百万円及び長期預り敷金保証金の減少49百万円の減少要因に対し、支払手形及び買掛金の増加8億22百万円、電子記録債務の増加2億84百万円、1年内返済予定の長期借入金の増加1億92百万円、賞与引当金の増加62百万円及び未払法人税等の増加1億34百万円の増加要因によるものであります。

純資産は、56億3百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億10百万円の増加となりました。主な要因としては、配当金の支払51百万円の減少要因に対し、株式の市場価格の上昇によるその他有価証券評価差額金の増加71百万円及び当第3四半期連結累計期間において四半期純利益3億90百万円を計上したことによるものであります。この結果、当第3四半期連結会計期間末における自己資本比率は20.5%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年2月期の連結業績予想につきましては、平成26年4月10日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

※ 上記予想は、現時点で入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る現時点における仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	713,123	1,780,795
売掛金	232,956	359,245
商品	4,814,324	5,278,751
その他	590,332	577,584
貸倒引当金	△364	△797
流動資産合計	6,350,373	7,995,579
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,870,507	3,736,162
土地	11,772,945	11,772,945
その他(純額)	237,392	227,386
有形固定資産合計	15,880,845	15,736,494
無形固定資産	706,875	707,173
投資その他の資産		
敷金及び保証金	2,203,697	2,073,238
その他	688,694	775,632
貸倒引当金	△4	△1
投資その他の資産合計	2,892,387	2,848,869
固定資産合計	19,480,108	19,292,536
資産合計	25,830,481	27,288,116
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,598,747	3,420,970
電子記録債務	504,105	788,657
短期借入金	3,997,670	3,926,300
1年内返済予定の長期借入金	2,746,455	2,939,355
未払法人税等	75,764	210,448
賞与引当金	—	62,350
ポイント引当金	210,200	202,182
その他	595,967	884,319
流動負債合計	10,728,909	12,434,582
固定負債		
長期借入金	8,017,903	7,500,229
退職給付引当金	734,087	755,056
役員退職慰労引当金	28,340	28,340
資産除去債務	115,977	117,281
長期預り敷金保証金	470,470	420,779
その他	541,055	427,987
固定負債合計	9,907,833	9,249,674
負債合計	20,636,742	21,684,256

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年11月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,926,000	1,926,000
資本剰余金	1,864,000	1,864,000
利益剰余金	1,529,903	1,868,365
自己株式	△232,567	△232,567
株主資本合計	5,087,335	5,425,798
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	106,477	177,628
繰延ヘッジ損益	△73	432
その他の包括利益累計額合計	106,403	178,061
純資産合計	5,193,739	5,603,859
負債純資産合計	25,830,481	27,288,116

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年11月30日)
売上高	22,749,996	23,387,642
売上原価	16,204,918	16,642,226
売上総利益	6,545,078	6,745,416
営業収入	880,176	838,623
営業総利益	7,425,254	7,584,039
販売費及び一般管理費	6,708,264	6,726,796
営業利益	716,990	857,242
営業外収益		
受取利息	711	576
受取配当金	5,560	6,783
受取保険金	10,506	14,642
その他	2,300	2,496
営業外収益合計	19,079	24,498
営業外費用		
支払利息	261,529	241,797
支払手数料	1,819	1,800
その他	353	129
営業外費用合計	263,702	243,727
経常利益	472,367	638,014
特別利益		
固定資産売却益	—	20
投資有価証券売却益	1,284	—
賃貸借契約解約益	—	16,172
受取保険金	—	20,000
特別利益合計	1,284	36,192
特別損失		
固定資産除売却損	2,576	8,696
投資有価証券評価損	6,364	126
賃貸借契約解約損	175	—
その他	0	289
特別損失合計	9,117	9,113
税金等調整前四半期純利益	464,534	665,093
法人税、住民税及び事業税	195,306	299,667
法人税等調整額	△16,157	△24,845
法人税等合計	179,149	274,821
少数株主損益調整前四半期純利益	285,385	390,272
四半期純利益	285,385	390,272

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年11月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	285,385	390,272
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	43,458	71,151
繰延ヘッジ損益	77	506
その他の包括利益合計	43,536	71,657
四半期包括利益	328,921	461,929
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	328,921	461,929

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成25年3月1日至平成25年11月30日)

報告セグメントごとの営業収益及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)3
	ホームセンタ ー	WILD-1	専門店	店舗開発	計				
営業収益									
外部顧客への営業収益	13,972,480	5,180,826	3,880,646	577,617	23,611,571	18,601	23,630,172	—	23,630,172
セグメント間の内部 営業収益又は振替高	—	—	—	9,801	9,801	48,557	58,358	△58,358	—
計	13,972,480	5,180,826	3,880,646	587,418	23,621,372	67,159	22,688,531	△58,358	23,630,172
セグメント利益	460,114	412,392	167,213	109,653	1,149,374	15,601	1,164,975	△447,985	716,990

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業及び保険代理店事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△447,985千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△447,985千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成26年3月1日至平成26年11月30日)

報告セグメントごとの営業収益及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)3
	ホームセンタ ー	WILD-1	専門店	店舗開発	計				
営業収益									
外部顧客への営業収益	13,957,983	5,583,304	4,126,696	538,314	24,206,299	19,965	24,226,265	—	24,226,265
セグメント間の内部 営業収益又は振替高	—	—	—	9,801	9,801	48,164	57,965	△57,965	—
計	13,957,983	5,583,304	4,126,696	548,115	24,216,100	68,130	24,284,230	△57,965	24,226,265
セグメント利益	476,670	504,552	204,012	102,335	1,287,571	16,320	1,303,891	△446,648	857,242

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業及び保険代理店事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△446,648千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△446,648千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。